広い空 未来につなぐ えがおの南山幼稚園

港区立南山幼稚園　Minato City, Nanzan Kindergarten

教育目標
〇げんきな子
〇よくかんがえる子
〇なかよくする子

１１月園だより

令和8年10月27日
October 27, 2026
園長 河合 晴美
Principal
Harumi Kawai

「ふしぎ」「おもしろい」「もっと」を支える

園長 河合 晴美

木々の葉が少しずつ色付き始めました。先日は、親子運動会に御参加をいただきまして誠にありがとうございました。人工芝となった小学校の校庭をお借りしての開催は、緑鮮やかな開放的な会場となりました。日差しがありましたが、声援や手拍子をしてくださる御家族の方の応援は子どもたちに伝わり、さらなるパワーとなりました。3歳児りんご組の「きょうりゅう」4歳児ばら組の「お助けマン」5歳児さくら組の「宇宙」というテーマは、昔、今、未来を表すつながりで「Amazing」と「Wonderful」を届ける運動会として考えてきたことが届きましたでしょうか。

さて、続く開園記念日のお祝いが終わると、南山幼稚園では、11月13日に研究発表会が行われます。南山幼稚園の子どもたちが、身近な自然とかかわりながら好奇心・探究心を培う過程を見つめ幼児の「ふしぎ」「おもしろい」「もっと」を支えてまいりました。身近な自然を幼稚園の敷地内だけに限らず、地域の自然について目を向け知らせることで視野が広がり、地域の自然を見付け、楽しむ姿につなげてきました。保護者の方々にも自然のおもしろさを感じてほしいため、ヘチマやゴーヤの生長を知らせ、味わっていただきました。幼児が「おや、ふしぎ」と感じたことを周囲にいる大人（教師や保護者）が的確にとらえ、受け止めていくことで、幼児自身の自然を捉える感覚も磨かれ、対象との出合いを楽しむようになるという成果から導いたことです。そして、幼児が「おもしろい」と思うと注目していくため、「なぜ」「どうして」という疑問も生まれます。それらを支えながら自分なりに考える、試す、確かめるといった過程で比較や予想、選択をしながらすすめていく姿がつくれるように、また、少し上の目標を掲げ、目指すことで意欲が継続することをねらいました。ICT を日々の保育に活かすことでは、タイムリーにその日の出来事や思いを支えることや可視化することが可能なため、みんなで共有したり、追体験したりすることができ、満足感や充実感を伴う豊かな活動となるようにしてきました。

私たちは、これらの経験から自分を取り巻く自然や社会に対し積極的に受け入れ、出合うことのすばらしさを知り、その中でかかわることから、多様な可能性を広げていく子どもたちのその先の姿を考えています。3、4歳児は、まだ、「ふしぎ」「おもしろい」「もっと」という循環にはならないこともありますが、教師がその道筋が分かることで、子どもたちより先に示すのではなく、心の動きを捉え、聴き、支えていくことが何よりも大切です。そして、子どもたちの学びの伴走者としていることで探究の物語がつくられます。



秋が深まる中で、自分を取り巻く自然を楽しみながら、新しいことを見付け、知ることで豊かになる思い、気付いたことを広げ、自ら得ることで満ちていく心の豊かさを味わってほしいと思います。

<開園記念日のお楽しみ>